令和6年能登半島地震
石川JRAT活動報告

ロジスティック業務

鹿児島医療技術専門学校　鎌田浩明

はじめに

- 令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福を申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
- 2月14日～25日の期間において石川JRATの七尾本部のロジスティック業務（以下ロジ）に参加いたしました。
- その時期のロジは、能登半島に向かう支援チームの連絡・業務調整、他団体との連絡・業務調整、七尾本部の記録、生活不活発病対策、福祉用具の貸し出しなど、多様な業務をおこなっていました。
- 中でも印象に残ったのは、石川JRATの復興フェーズを見据えた中での七尾本部の機能再編のお手伝いでした。

石川JRATの活動拠点と範囲

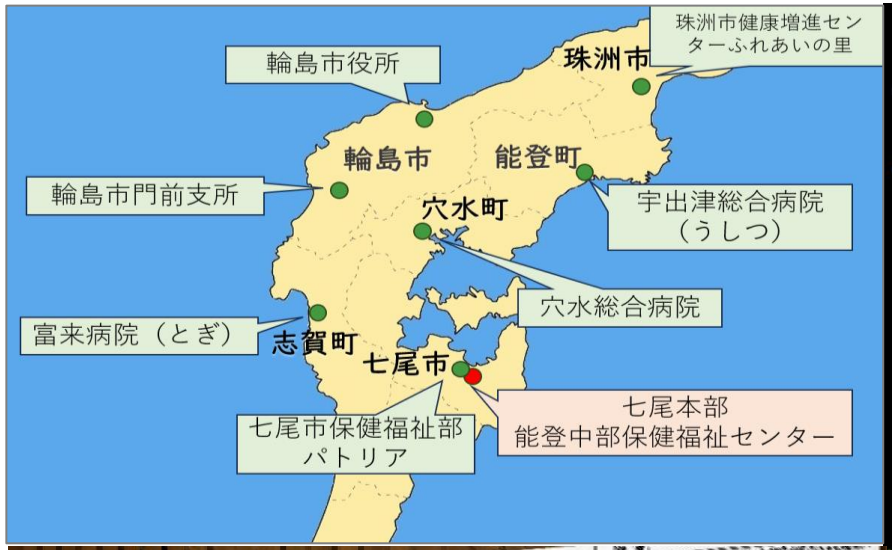
2月14日の拠点マップ

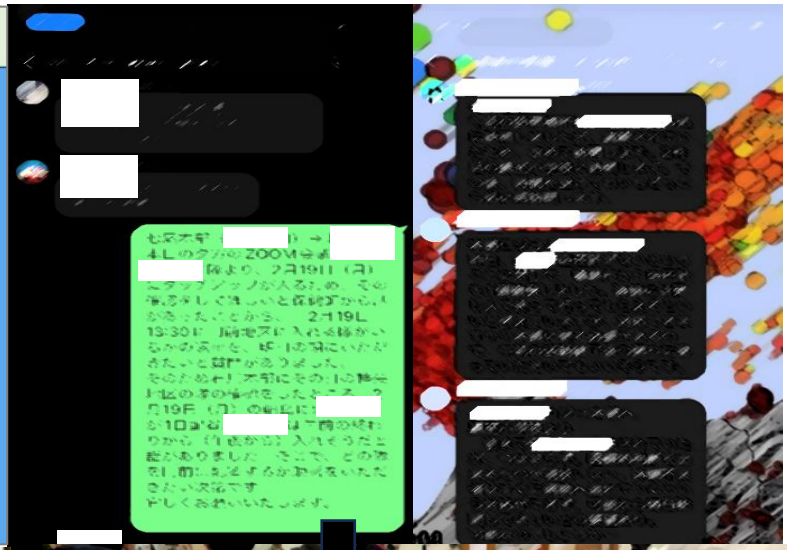
2月14日の石川JRATの活動拠点は石川本部、七尾本部、県庁本部があり、七尾本部は奥能登に向かう支援チームの連絡調整をおこなう前線基地としての機能を有しておりました。

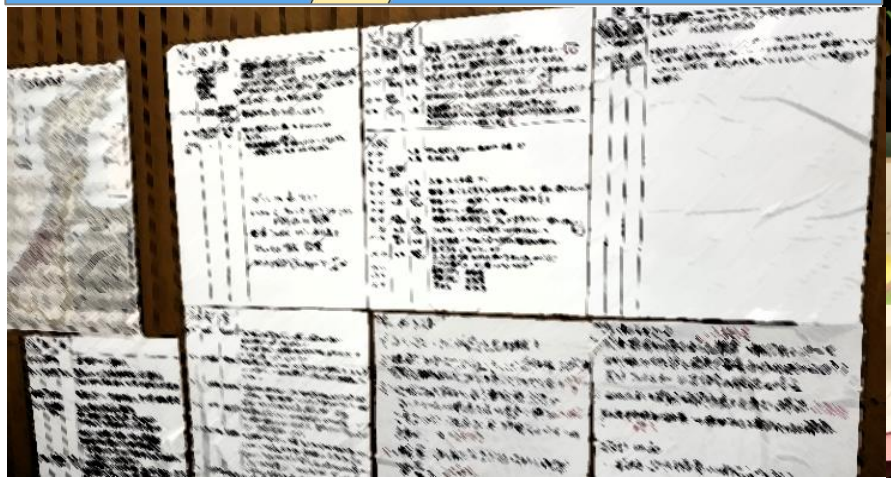
七尾本部（能登中部保健福祉センター）

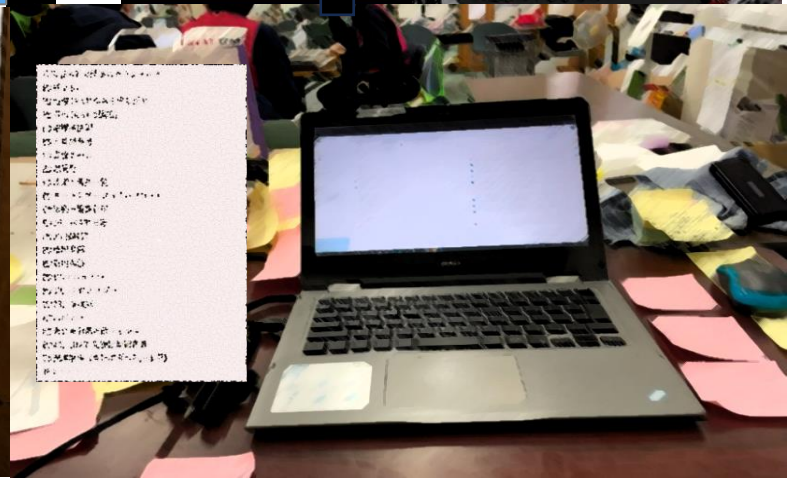
施設は上下水道が不通で仮設トイレを利用しており、避難所に向かう隊の感染拡大防止のために様々な感染対策品が利用できるように準備されておりました。

七尾本部でのロジ業務について



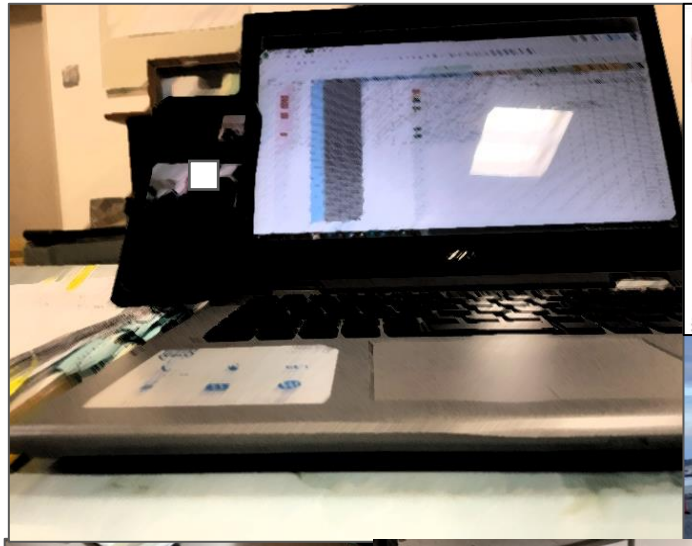


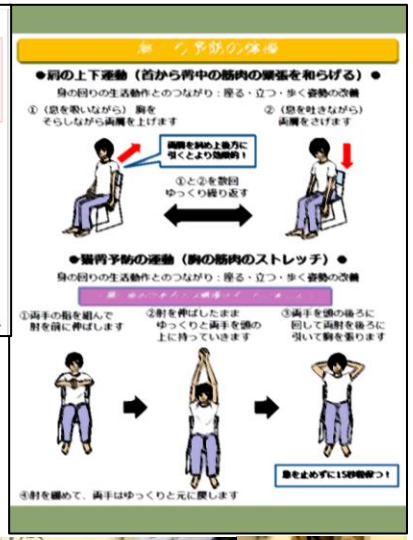


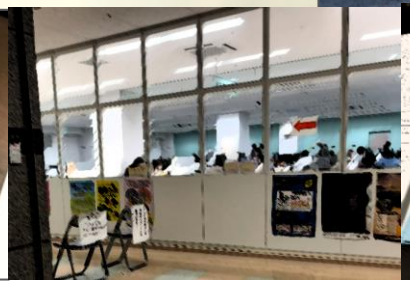


七尾本部と支援チームとの連絡や、市町の調整本部との連絡にはLINEや電話を用いており、googledriveのフォルダにあるクロノロジーのシートに連絡内容を記録していました。

七尾本部でのロジ業務について

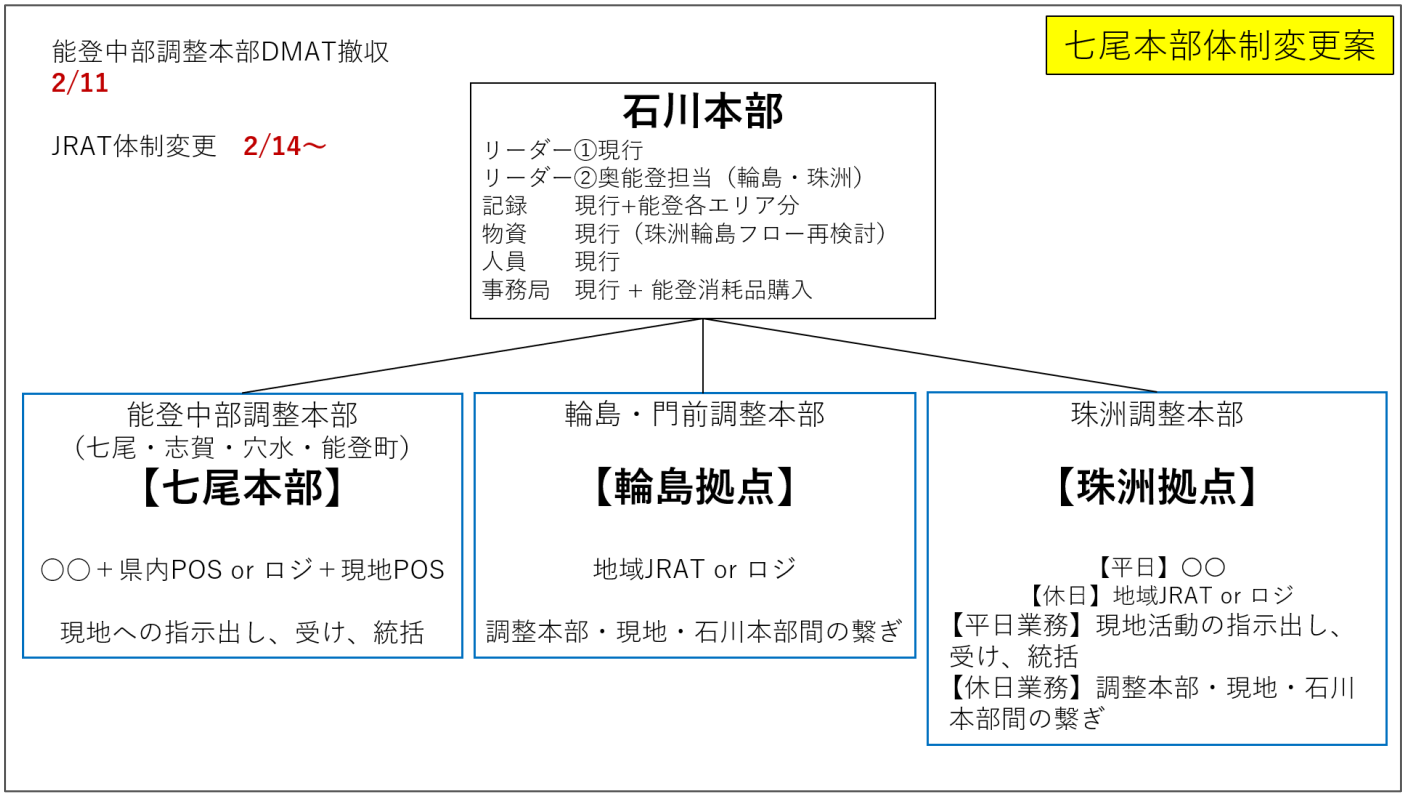






また夕方には支援チームのZOOM会議を開催し、活動報告や申し送りなどをロジリーダーの先生が進めていました。さらに、避難所の生活不活発病対策として体操の普及や、転倒予防のための短靴の貸与などを行っていました。
その他、七尾市の保健福祉部への会議参加、宿泊先の確認、受援者基本票の用紙の集約作業なども行いました。

七尾本部の機能再編について



七尾本部の機能再編について
派遣初日に、七尾本部の機能を地域の復興の状況にあわせて再編させてゆく必要があるため、石川本部を拠点として、七尾本部・輪島拠点・珠洲拠点に再編を検討しているとお話がありました。
そのため、当日のうちにロジの先生とロジリーダーの先生と検討し、次のように再編作業を進めていきました。

七尾本部の機能再編について

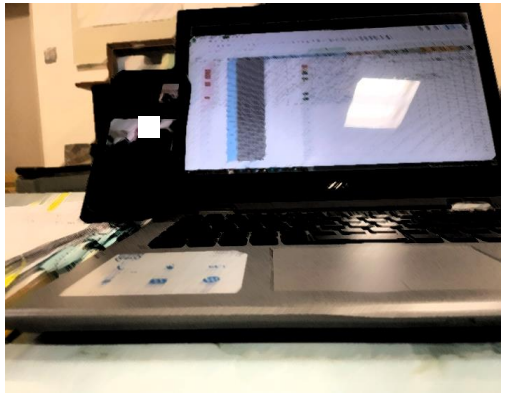
機能再編として
1．輪島・珠洲地区の支援チームからロジスタッフを1名ずつ配置（2月15日～）
2．Googleドライブを七尾本部から分割しロジの作業環境を構築（2月15日～）
3．両地区のロジスタッフのフォロー（2月16日～）
4．支援チームの会議（ZOOM）の移管（七尾本部→石川本部）（2月17日～）

輪島ロジのドライブ

現状分析・活動報告（輪島）
2月分輪島市輪島地区活動実績表
活動一覧_輪島
輪島ロジクロノロ
輪島活動マニュアル
輪島市避難所JRAT訪問実績
輪島地区福祉用具提案等
輪島ロジ業務の内容調整

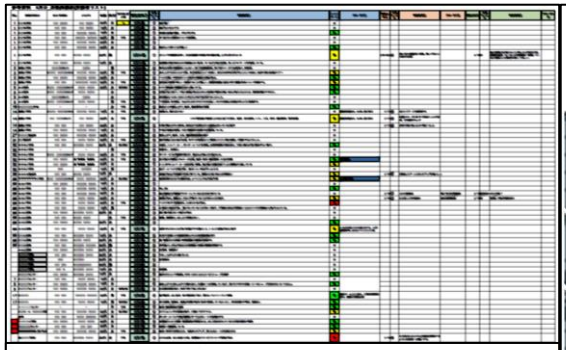
珠洲ロジのドライブ

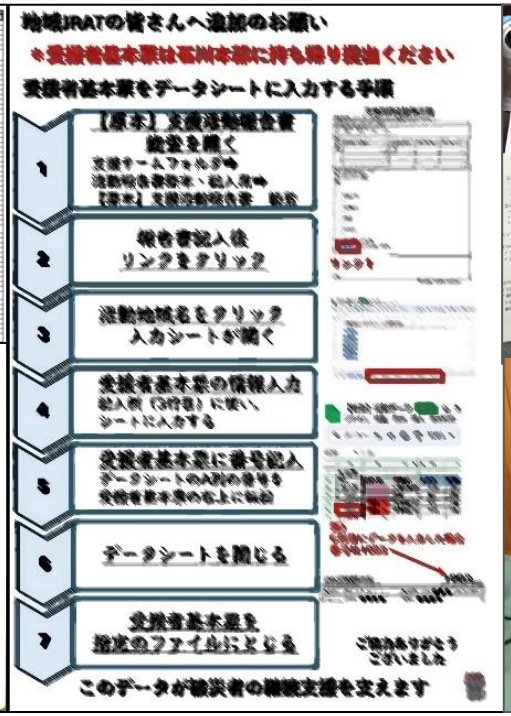
現状分析・活動報告（珠洲）
珠洲市活動マニュアル
珠洲市に宿泊されるチームへ
2月分珠洲市活動実績表
活動一覧_珠洲
珠洲_福祉用具等提案等
珠洲ロジクロノロ



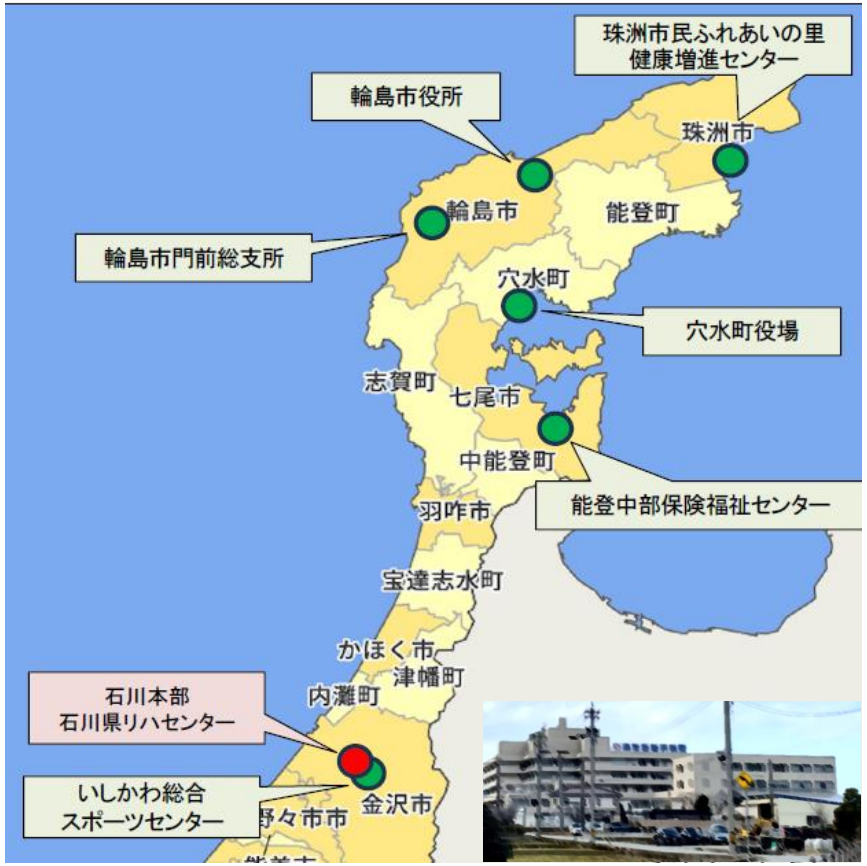
七尾本部の機能再編について

機能再編として
５．再編状況の確認とデータ入力業務の見直し（2月19日）
６．七尾本部の負担軽減のためにクロノロ入力を石川本部が担当（2月20日～）
７．受援者基本票の入力フォームを変更（石川本部）（2月22日～）
８．七尾ロジマニュアル更新と七尾本部に参集する地域JRAT要員のオリエンテーションチェックリスト作成と用品の更新（2月23日迄）





七尾本部の機能再編について



3月8日の拠点マップ

そして、派遣終了後の3月8日に七尾本部は石川本部に統合されたと報告がありました。
今回のロジ業務では、多くの有能な先生方と共に再編業務を担えたことに感謝しながらも、平時から震災リハのロジ業務についても学んでゆく必要があると感じた活動でした。

おわりに

派遣の承認や調整をしていただいた鹿児島医療専門学校の先生方、東京JRAT本部の先生方、鹿児島JRATの先生方に感謝を申し上げますとともに、現場での指示や支援をしていただきました石川本部・七尾本部の先生方、各都道府県よりお集まりいただきました支援チームの先生方に感謝を申し上げます。